
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2010年2月2日号

©2009年12月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年12月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内落花生・落花生油価格の上昇傾向は穏やかに鈍化

2009年12月の山東地区二級落花生仁卸売価格は、1トン当たり7,922円で、前月比1.6%高となり、上昇幅は前月と比較して15.9%下落した。四級の落花生油価格は同15,500円で、前月比8.4%高、上昇幅は前月と比較して12.3%下落した。

2 国際植物油原料、食用植物油価格は上昇

2009年12月のカナダ産油菜籽のCNF価格（FOB価格＋運賃）は1トン当たり466ドル、前月比2.4%高、前年同月比21.7%高となった。南米の枝豆油のCNF価格（FOB価格＋運賃）は、同912ドル、同1.1%高、同28.0%高、マレーシア産パーム油（融点24℃）FOB価格は、同777ドル、同8.6%高、同45.6%高となった。

3 輸入油菜籽価格は国内価格を上回るが、一方で内外価格差は大幅に減少、輸入大豆油価格は国内価格を下回った

2009年12月は、国内油菜籽価格の上昇幅が大きいため、輸入油菜籽価格との内外価格差は大幅に減少し、輸入油菜籽価格の優位性が顕著となった。カナダ産油菜籽の通関渡し価格（CIF＋関税等）は、1トン当たり約4,035円と国内油

菜籽工場買入価格に比べ同19元高となり、内外価格差は前月と比較して同200元低下した。米国メキシコ湾における大豆油のFOB価格は同792ドル、元換算で同5,409元と、国内消費地区大豆油価格に比べ同2,413元安となり、輸入大豆油の通関渡し価格（山東省）は同7,713元と、当地の国産大豆油工場出荷価格に比べ同109元前安であった。

4 1～11月の食用油籽、食用植物油輸入量は大幅に増加

海関統計によると、2009年11月の食用油籽輸入量は、前月比16.8%増、前年同月比9.1%減の323.0万トン、食用植物油輸入量は、同3.7%増、同8.1%減の77.7万トンとなった。

2009年1～11月では、累計食用油籽輸入量が、前年同期比16.3%増の4,118.8万トン、食用植物油輸入量が、同16.6%増の865万トン、そのうち油菜籽が同1.9倍の298万トン、パーム油が同24.3%増の585万トンであった。

5 2009/10年度の世界植物油原料生産量は増加と予測

FAOの12月の予測によれば、2009/10年度の世界植物油原料の予測生産量は前年度比8.2%増(3340万トン増)の4.405億トンに達するとしている。そのうち、大豆の生産量は前年度比17.3%増の2.48億トン、油菜籽は前年並みの5830万トン、綿実・落花生・ヒマワリの種はそれぞれ、4020万トン(1.2%減)、3300万トン(6.3%減)、3150万トン(7.1%減)と予測されている。